



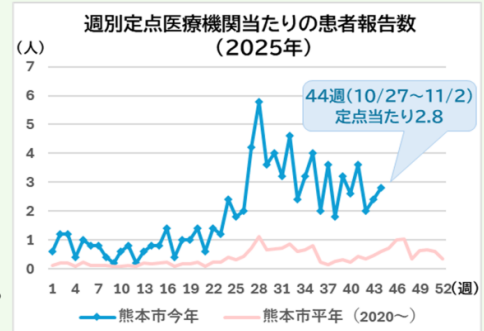
マイコプラズマ肺炎

「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多いものの一つです。マイコプラズマ肺炎は1年を通じてみられ、秋冬に増加する傾向があります。

◆**感染経路**◆ 感染した人のせきのしぶきを吸い込んだり、感染者と接触したりすることにより感染と言われています。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2～3週間くらいとされています。

◆**どんな症状**◆ 発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、せきなどの症状がみられます。せきは少し遅れて始まることもあります。せきは熱が下がった後も長期にわたって(3～4週間)続くのが特徴です。肺炎マイコプラズマに感染した人の多くは気管支炎で済み、軽い症状が続きますが、一部の人は肺炎となったり、重症化したりすることもあります。せきが長引くなどの症状がある時は、医療機関で診察を受けるようにしましょう。

◆**治療と予防**◆ マクロライド系などの抗菌薬で治療されます。普段から流水と石けんによる手洗いをすることが大切です。また、感染した場合は、家族間でもタオルの共用は避けましょう。せきの症状がある場合には、マスクを着用するなど“咳エチケット”を守ることを心がけましょう。



定点 種別	疾患名	状況	43週(10/20～10/26)		44週(10/27～11/2)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	—	81	3.38	91	3.79
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		43	1.79	22	0.92
	急性呼吸器感染症(ARI)		1348	56.17	1473	61.38
小児科	RSウイルス感染症		28	1.87	28	1.87
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	2	0.13	3	0.20
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	21	1.40	17	1.13
	感染性胃腸炎	—	48	3.20	44	2.93
	水痘(みずぼうそう)	—	2	0.13	1	0.07
	手足口病	—	4	0.27	3	0.20
	伝染性紅斑(りんご病)	○	41	2.73	42	2.80
	突発性発しん		11	0.73	5	0.33
	ヘルパンギーナ	—	1	0.07	0	0.00
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	2	0.13	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	14	2.80	11	2.20
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎		12	2.40	14	2.80
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし